

保育 おおきか

平成15年10月1日 第338号

大阪府社会福祉協議会・保育部会

六都府住公福社處議會 保育部會
06-6762-9001 Fax 06-6768-2426

第47回全国保育研究大会が、9月10日（水）～9月12日（金）の3日間、京都市で全国から約2000人以上の保育関係者が集い開催された。今年度も「ともに育む子どもの笑顔—変革の時代の保育を考える—」をメインテーマに、講義・研究発表が展開された。

らは11名が受賞された。

まざまな体験に基づいた講演は、教育とは、親とは、家庭とはという人間の根本の育ちを考えさせられる内容であつた。中でも子ども

なごと

睡眠時無呼吸症候群といふ病気を皆さんは、ご存知でしょうか。

おめでとう
ございます

○全保協会長特別感謝状
菊池 繁信（もみの木保育園）

○全保協会長表彰

坂本 幸子 (津之江さくら保育園)
津田美重子 (あけぼのベビーセンター)
山本 良一 (大東わかば保育園)
山田ミサ子 (文化保育園)
内田 裕子 (光陽保育園)
唐住 康雄 (木の実保育園)
川崎 孝 (貝塚中央保育園)
山田 早苗 (白鳥保育園)
水野多津子 (浜寺保育園)
齋藤 文子 (坂門ヶ原保育園)

—すすやかに生きる』
子どもを鏡としてーといふ
テーマで、愛知専門尼僧堂
堂長の青山俊茎氏を招き記
念講演が行われた。穏やか
な口調の中にも、今まで自
分が生きて実感してきたさ

閉会式では、次世代支援への取り組みに向けたアーピールが採択され、来年の開催地、群馬県保育協議会長にバトンタッチされ、全日程を終了した。

あることが大きく、明らかに生活習慣病でした。保育園で元気な子どもたちを見ていると、「反省」の一語につき健康管理の大切さを深く感じました。

—第47回全国保育研究大会—

次世代育成支援へアピール



オープニング 京都府内保育所・職員によるコーラス

開会式は、児童書翻訳・主催者あいさつの後、全国保育協議会からの感謝状、表彰状の授与式が行われた。大阪府か

今年度はプログラム内容をリニューアルし、多方面で活躍されている講師を招き、今後の保育制度の方向性などを学ぶ講義プログラムが新たに組まれた。午後からは分科会に分かれ、研究発表後、熱心な討議が行われた。

るとおりになるという言葉は、昨今の子育ての中では一番問われている問題ではないかと考えさせられた。

また、親が残す財産とは「もの」ではなく、親がどう生きたか、どう生きようとした願ったかというその「姿」であると語られた。ご自身の余命・病・死を見据え、この命をどう生きるべきであるかと、人生に向き合む

酸素を体内に送ることができず、熟睡が困難となり日中眠気を催し、ひいては心臓疾患になりやすくなると
いうものです。

私も検査の結果、無呼吸
であることがわかり、治療
として睡眠中に装置（酸素
マスクみたいなもので、鼻
から酸素を送り常時呼吸を
させるもの）をつけなくて
はいけなくなりました。病

2
日
目



講師の青山俊英氏

M
K

した『ポリシー』 すべての子どもを平等に

A black and white photograph of a group of about twenty people, primarily women, posed in two rows in front of a large, dark rectangular sign. The sign features the word 'SAMARIA' in large, bold, capital letters at the top, followed by 'KANTA-ESPOON SOSIAALI- JA TERVEYSTALO' and 'STATS- & BORG-SOCIAL- & VELBEG- & TILHUS' below it. The group is arranged in two rows: a back row standing and a front row sitting on the floor. They are dressed in various styles of clothing, including blazers, dresses, and casual wear. The setting appears to be an indoor hallway or lobby.

エスポート市内にあるキロ・ディケアセンターは、障害を持つ乳幼児を預かる最初の施設として1995年に設立された。建物は少学校と併設され、各所に専門的な設備があり機能的に建てられている。現在約80人の子どもが入園し、その20人が障害を持っている。スタッフは他に比べると多く、言

し的役割をうまくこなしている。学級形成の困難さを言われる中、見習うべきものがあると考える。中学校・小学校・幼保の関係調整や長期的で広範な視野を持つことが求められている。

児童福祉コースは、
フィンランドの児童福
情を知るためにエスボ
の保育担当のビルビー・
ペラ氏に話を伺った。

今まで保育は、福祉
康の中に属していたもの
6～7年前の新法によ
り、EDUCATI
とCAREを併せたE

太田房江大阪府知事を団長とした関空プロモーション団が、参加者100余人で、北欧に8月25日出発し9月1日に無事帰国した。その内のフィンランド福祉事情視察団は、大阪府社協常務理事の葭矢忠氏を団長に50人を数えた。三上部会長をリーダーとする高齢者福祉と、門谷副部会長をリーダーとする児童福祉の2コースに分かれて、3日間6か所の福祉施設を視察した。



クータ王・ディケアカンタ-

まれ、1クラス何十人もまとめるような日本型保育ではなく、少人数のグループワークに対応しやすい状況はうらやましくもあるし、私たち自身も現状に対してもう一度工夫をする必要がある」と考えた。

フィンランドでは、障害をもつ子は病院ではなく、保育園に入園する。孤立した専門的保育園ではなく、他の子どもと一緒に保育を受け、成長評価はすべて病院でチェックするシステムになっている。

キロ・デイケアセンター
家庭的な雰囲気の中で

息が出てしまう施設であつた。

子どもたちのグループは3歳以下、3～5歳、2～5歳、就学前の4つに分かれているが、どの部屋も自由に行き来できる。外観は平屋建ての素敵な建物だが、一歩中に入ると思わずため息が出るような素朴な空間が広がる。家庭のように部屋がいくつもあり、遊びの部屋、ダイニングルーム、寝室などの部屋にもソファ

る。保育園児と小学校への就学の効率化が図られていく。特に遊びを重要視し、すべての保育や勉強が遊びに関連付けて行われている。例えば、随所に絵を使って意思を伝えたり、運動遊びに算数を取り入れ自然に体を使つて学べるようにしたり、障害児の訓練が遊びに組み込まれて楽しく行われている。

とチエアがおかれている。子どもたちが興味をもてる遊びがインテリアのように用意され、就学前のグループの部屋も、自然な形で教育的な事柄が身につくような環境が工夫されていた。



テュオリンニエミ・ディケアセンター 併設小学校の授業風景

ことから、海外出張の家庭の子どもが、2泊3日と利用している。子どもは71人で、スタッフは31人。フィンランドではめずらしい男

子どももゆつたりと過ごせ、家庭的という言葉がぴったりであった。

目の前に広がった専用ビー
チと大きな岩山、広い園庭、

常に子どもの人格を認め尊重し、安全性を考えた環境作りを行い、親と園側が相互理解と確認を十分取り合うこと、う活を興味深く、間

ブロックだより

頼られる存在へ

一堺ブロック園長研修会

育福祉学科農野寛治助教授を迎えて、「これから保育と子育て支援サービスを結ぶ小学校単位での子育て支援委員会の設置」等の推進所のあり方、地域のネットワークづくり（地域における保育所の役割）というテーマで研修会を開催しました。今、保育園に対するニーズが多様化する中、福祉を必要とする人が増えており、地域における「子育て機能の再生」を計り、地域社会での養育支援が望まれています。子育て経験のある人

堺市民間保育園連盟は、9月16日堺市総合福祉社会館で、大谷女子大学文学部教員による「子育て機能の再生」を計り、地域社会での養育支援が望まれています。子育て経験のある人

講師の農野先生

子どもの「育ち」一番に

同じ悩みを共有

一河内ブロック主任保育士研修会

入においては、子育てのノウハウを知る専門職であり、いろいろなメニューや場を提供できる保育園が、子どもや親を支え、頼られる中もや心的な存在となつてほしいと結ばれた。

（御池台保育園 Y・K）

社会福祉施設の近代化を成し遂げ、社会福法人経営の重要な性を全国に定着させた。福祉施設の発展を誰よりも願い、そのための現状の改革に生涯をかけられた。

9月8日午後、元全国社会福祉施設経営者協議会会長の吉村駿生さんが天寿を全うされた。79歳。社会福祉界の巨星落つ——。それほど吉村さんの存在は大きかった。

社会福祉施設の近代化を成し遂げ、社会福法人経営の重要な性を全国に定着させた。福祉施設の発展を誰よりも願い、そのための現状の改革に生涯をかけられた。

（ソーシャルリンクルージョン）

に自ら範を示して取り組んでいた。

法人葬は10月8日午後1時から、大阪市内の「やすらぎ天空館」で執り行われる。

（ソーシャルリンクルージョン）

に自ら範を示して取り組んでいた。

（ソーシャルリンクルージョン）